

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進	施策の目的	生涯を通じた学習活動を促進する	施策	スポーツ振興
--------------	--------------	--------------	-----------------	-----------	--------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
スポーツ施設の活用	社会体育施設の修繕	生涯学習課
スポーツ指導者・活動団体の支援	スポーツ団体の支援	生涯学習課
スポーツ活動の促進	各種スポーツ教室の開催	生涯学習課

目標

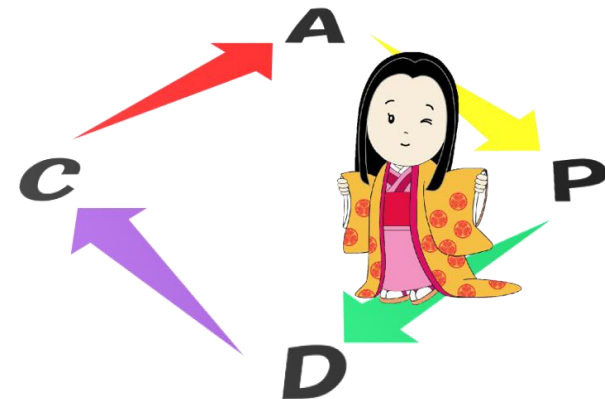
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
スポーツ活動・施設に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	30.3%	35.3%
体育施設の利用者数	市内体育施設の利用者数	指定管理事業者などとの連携を進め, 人口の約5倍の利用者数を目指す。	144,497人	310,000人

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

コロナ禍において各種活動が制限されてしまったのは致し方ない。しかしながら、生涯学習の中でスポーツ活動は中心的な役割を持っており、今後も大いに推進していくべきだと思う。施設の老朽化に対しては、計画的に修繕に取り組んでいただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	社会体育施設の修繕			
担当	生涯学習課			
予算科目	一般会計			
	10款	6項	2目	2事業
事業の目的	利用者がいつでも安全に施設を利用できるように管理するとともに、施設の長寿命化のため適正に維持管理する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	スポーツ振興
施策の方向	スポーツ施設の活用

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	3,000千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		10,000 円
実施内容と改善点		
水海道総合体育館 ガラス・土間タイル きぬ温水プール ろ過装置・ファンベルト交換 吉野サン・ビレッジ 区画線設置		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	限られた予算の中で、事故に直結する箇所 <small>の</small> 修繕をいち早く実施した。消耗品についても、作業が滞り住民サービスの低下につながらないように使用頻度が高いパロネスや刈払機を修理した。
分析	本来は予算を大幅に上回る修繕費用を要する案件がある中、指定管理者と協議し予算の範囲内で最低限の修繕は実施できている。いずれ大規模な修繕につながらないように、工夫した修繕内容になっている。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--

令和2年度	決算額	3,500千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		24,647 円
当初の成果目標		10,000 円
実施内容と改善点		
【主な修繕箇所】 ○石下球場 照明 ○水海道総合体育館 メインアリーナ床 ○石下総合体育館 消防設備 ○天満球場 漏水 ○吉野サン・ビレッジ スポーツトラクタ、パロネス、刈払機		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		円
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
円	円	

令和元年度	決算額	2,350千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		8,303 円
当初の成果目標		- 円

成果指標	
1日あたりの修繕・工事費(コスト) 【計算式】(修繕費+工事費) ÷ 全社会体育施設開設日	
単位	円

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	スポーツ団体の支援			
担当	生涯学習課			
予算科目	一般会計			
	10款	6項	1目	3事業
事業の目的	スポーツ団体やスポーツ推進委員と連携し、各種スポーツの普及・啓発に取り組む。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	スポーツ振興
施策の方向	スポーツ指導者・活動団体の支援

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	2,700千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		2,000 人
実施内容と改善点		
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、予定していた全ての事業の開催はできない。しかし、昨年度の経験を基に、感染対策を講じて可能な限り実施していきたい。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	コロナ禍の中、多くの人を集めて実施するイベントを全て中止にせざるを得なかった。その中で、学童野球連盟及び軟式野球連盟は春・秋の大会とも感染防止対策を講じて実施したことは他のイベントの模範となった。
分析	コロナ禍でのスポーツイベント開催は、施設の閉鎖や感染防止対策を十分にできないなど、過去に例のない状況下で困難を極めた。

【Action】今後に向けた改善点

方針	

令和2年度	決算額	3,000千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		846 人
当初の成果目標		4,200 人
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全10事業のうち4事業のみの開催となった。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
人		人

成果指標	
常総市スポーツ協会及び常総市スポーツ少年団が主催する各種スポーツ大会・イベントへの参加者数	
単位	人

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	各種スポーツ教室の開催			
担当	生涯学習課			
予算科目	一般会計			
	10款	6項	1目	4事業
事業の目的	各種スポーツ教室を指定管理者に委託して開催し、市民の健康増進とスポーツ活動の機会創出を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	スポーツ振興
施策の方向	スポーツ活動の促進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	1,100千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		500 人
実施内容と改善点		
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、予定していた全ての教室の開催はできない。しかし、昨年度の経験を基に、感染対策を講じて少人数でも可能な限り実施していきたい。		

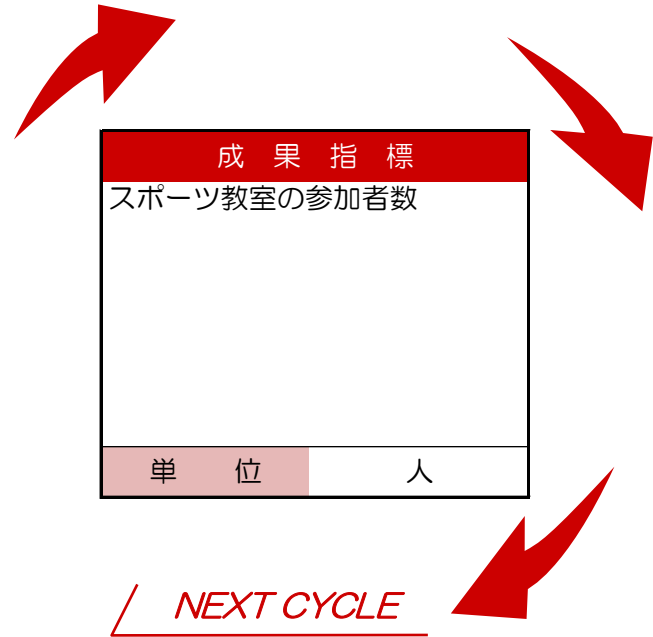
【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	コロナ禍において、委託先である指定管理者や講師を依頼している市スポーツ協会と開催にあたり協議を重ねた。5教室のみではあるが、開催できたことは今後につながる取り組みとなった。
分析	コロナ禍での教室開催は、施設の閉鎖、感染防止対策を十分にできないなど、過去に例のない状況下で困難を極めた。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--

令和2年度	決算額	622千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		362 人
当初の成果目標		1,200 人
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全18教室中5教室のみの開催となった。さらに、密を避けるため、定員を減らしての開催した。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
人		人

NEXT CYCLE